

## 入籍のご報告

第9期OB 竹内 亮介

私事でございますが、2019年10月26日に豊島区役所へ婚姻届を提出し、晴れて入籍をいたしました。本来であれば、こちらに仲睦まじい夫婦の写真の1つでも掲載できれば良いのですが、少し恥ずかしくなってしまうようなので、婚姻届の提出時やけに目に付いたキャラクターの写真でご容赦いただくと幸いです。豊島区のホームページによりますと、お名前は「そめふくちゃん」で、「大きな目で、街全体のことや、人の気持ち、未来まで見渡せるよ!」とのことでした。



豊島区PRキャラクター  
そめふくちゃん

そめふくちゃんを目撃してから約3か月が経過しましたが、その中で心境の変化を2つほど感じております。1つ目は、夫婦または家族という「チーム」にいかにか貢献できるかについて意識

するようになった点です。例えば、掃除・洗濯・買い物などなど日常生活でこなすべき諸々の家事を、相手に任せっきりにするのではなく、自分が気付いたときにサッと片付けることを心がけるようになりました。と偉そうに書きましたが、実際のところ、炊事に関しては料理スキルの低さを言い訳に、99%は任せっきりになっています... (その代わり、食後に食器を綺麗に洗い、水切りラックに美しく並べることによって存在感をアピールしています)。2020年は何とかして、炊事部門でも「チーム」への貢献度を高めていこうと今決意しました。

そしてもう1つの変化は、周囲の方々が私たちの入籍を心から喜んでくれるということを知った点です。最初はあくまでも妻と自分自身のために入籍に至った訳ですが、その報告をさせていただく度に、普段からお世話になっている周囲の方々が自分のことのように喜んでくれることに大変驚きました。特に、祖父母が「生きてるうちに、あんたの結婚を見届けられるとは思わなかったから幸せやわ」と冗談めかして言ってくれた時は、グッと来るものがありました。到底比較するには及びませんが、イチロー選手が昨年の引退会見で「人に喜んでもらえることが一番の喜びに変わってきたんです」という旨の発言をしていましたが、その真意をほんの少しだけ理解できたような気がしております。

強引に話をまとめますと、上記の2つの変化からは、私が齢28にして自分本位に生きていく段階からは脱しつつあることが伺えるのではないかと思います。そめふくちゃんのように、自分以外の様々な物事をしっかりと見渡すことができるよう、引き続き頑張っていきたいと思います。